

2015-2016 Rotary International District 2540

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER

8

August

Contents

- 2 宮下ガバナー メッセージ
- 3 国際ロータリー会長メッセージ
- 4 ガバナー公式訪問レポート
 - 横手南RC ●横手RC
 - 秋田南RC ●秋田中央RC
- 6 委員会レポート 職業奉仕委員会/会員拡大増強委員会
- 7 新会員紹介、PHF・MPHF・米山寄付者紹介
- 8 8月のRIレポート、ロータリーの友紹介、文庫通信、巻頭の言葉

ガバナー月信 vol.02
2015.08.01



Rotary

国際ロータリー第2540地区

ガバナー 宮下 正弘

〒010-0001 秋田県秋田市中通1-3-5 秋田キャッスルホテル103

TEL: 018-827-5161 FAX: 018-827-5162 E-mail: rid2540g15-16@heart.ocn.ne.jp

ロータリーは出席が大事！

新年度がスタートして1ヶ月が経とうとしています。地区のガバナーとして最も重要な仕事、「公式訪問」も4クラブを終えました。県南の2クラブ、秋田市の2クラブです。事前懇談の席上出席率やメイクのことが話題に上がりました。

私がロータリーに加盟したのは1997年4月でした。その時に先輩ロータリアンから言われたことは「兎に角出席が第一、顔を合わせて挨拶をして会話を交わす、これがスタートです」でした。赤十字病院院長になって2年目、内科外来やドックの診療、様々な会議があって定期的に出席するのは不安がありました。水曜日の昼の例会出席を軸にスケジュールを組み立てればそれはそれでリズムが作られるものと考え、そのようにしてきました。

その時“メイク”についても説明を受けました。Make-upの略、メークアップは化粧のことと知っていましたが、欠席の埋め合わせをする意味があることは寡聞にして知らず。手元の英和辞典では、「こしらえる、作り上げる、組織する、化粧する、伸直りする、(不足を)補う、償う」が挙げられており、米国では追(再)試験を受ける意味でも使われているとのこと。そう考えれば化粧も短い(と本人が考えている)まつ毛を長くしたり、唇の朱を強調したり、頬紅を塗ったりと足らざるところを補う行為とすれば納得できます。まあ補てんする、帳尻を合わせるというようなニュアンスをもった言葉のようです。

現在メイクについては、欠席の前2週間または後2週間以内に他のクラブの例会か所定の会合に出席すれば、自己の会員身分を守り、出席のクレジットを受けることができる、とされています。以前は前後1週間で、クラブ数も少なく、先輩たちは大変な思いをしながらメイクをし、連続出席を重ねたのです。おかげで私は入会以来メイク、また次に述べるサインメイクを活用して先日19年連続表彰を受けることができました。

では国際ロータリーでこの規定はいつできたのでしょうか。山本正治著「ロータリーのこぼれ話」(新潟日報事業社・2013年)によりますと、シカゴロー

タリークラブの開始から1か月しかたたない1905年3月23日の例会で連続して4回欠席すると会員資格を失う規定が設けられています。如何に出席が重視されたかがわかるでしょう。なおこの規定は現在も生きています。その後1922年国際ロータリー連合会から国際ロータリーに改称されたときに綱領改正とともにメークアップ規定が制定されました、とあります。ちなみに日本のロータリーの発足(東京RC)が1920年、大阪RCが1922年です。日本のロータリーはメークとともに歩んだ、と言ってもいいかもしれません。

そのメークに「サイン・メーク」が加わったのはいつからでしょうか。いや、1922年と制定当時からあったのかもしれませんが。現在の手続要覧には会合が開かれていると思っていったがたまたま休会であった時もメークに認定されている項があり、これが現在の形すなわち休会があらかじめ公表されていてその会場に赴いてサインすればメークと認められるというふうになったのです。多忙なロータリアンにとってサイン・メークは大変便利です。でも基本はあくまでも例会に参加して他クラブのロータリアンと言葉を交わし、情報を交換することです。クラブによって例会の運営にも微妙な差があり、それがまた面白い。今の言葉でいえば「ロータリーの中の多様性」ですね。ガラパゴス島ではありませんが、夫々が独自の進化を遂げている結果なのでしょう。例会全部でなくてもよい、60%出席すればメークと認められるのです。ほんとのメーク、サインメイクでないリアルメイクを少しでも多くして交流してほしいものです。

手元にある2013-14年度平均出席率は地区全体で81.14%、100%出席が2クラブ、最も低いのは65.32%。ロータリアンの三大義務は、ご存じのように、「例会の出席」「会費の納入」「ロータリー雑誌の購読」です。何はともあれ例会出席、宜しくお願いします。



Miyashita Masahiro

2015-16年度ガバナー 宮下 正弘



私たちはロータリーで、善き行いを目指しています。人類に大きなプレゼントを残した人びとを尊敬しています。大勢の人に人間の尊厳を与えたアブラハム・リンカーン。疎外された人たちに慈悲の心を捧げたマザー・テレサ。虐げられた人たちに平和的な変化をもたらしたマハトマ・ガンジー。彼らは皆、自らが世界へのプレゼントとなって、自分自身を捧げました。

私たちはこれら歴史上の人物から刺激を受け、模範とすることができます。この人生において、自分が大切にしている責任をおろそかにせずに、どうしたら自らを世界に捧げられるだろうか、と。今年度のテーマを考えているとき、ヒンドゥー教を通じて私が学んだある教訓を思い出しました。それは、スダマの物語です。

貧しい少年スダマは、神の化身として王家の一族に生まれたクリシュナの親友でした。2人の少年は、成長するにつれて少しずつ疎遠になり、クリシュナが軍を率いる名高き王となった一方で、村人スダマはつましい暮らしをしていました。

何年も経った頃、スダマは生活に困り、子どもに食事を与える十分なお金さえなくなっていました。妻は、幼い頃に親しくしていたクリシュナに助けを求めるよう提案しました。最初は躊躇していたスダマも結局同意し、手ぶらでは申し訳ないと、家族の残りわずかな食糧のお米を布に包んで持っていきました。

スダマを見たクリシュナは大喜びし、親切に愛情をもって迎えました。その高貴な生活ぶりに圧

倒されたスダマは、丁寧に包んできたお米さえ粗末に思えて差し出すことができません。クリシュナは「何を隠しているのか」と尋ねました。

布を開いて中の米を見ると、クリシュナは喜んでこれを食べ、思い出話に花を咲かせました。数時間後、変わらぬ友情に感激したスダマは、助けをお願いすることをすっかり忘れてクリシュナの元を去りました。帰り道、スダマは、当初の目的を忘れていたことに気づき、最後の食糧であったお米もクリシュナと一緒に食べ尽くしてなくなっていました。

お腹を空かせた子どもたちが待つ家に帰るのは至極苦痛でした。しかし、自宅に着くと、そこにあったのは、彼が出たときと同じ小屋ではなく、美しい家でした。家の前にはきれいな服を着た家族が立っています。十分な食事を済ませた家族は、スダマを出迎えようと待っていました。

クリシュナには、スダマがありったけの米をプレゼントしてくれたことが分かっていたのです。そのお返しに、クリシュナは、スダマが必要とするすべてを与えました。この逸話の教訓は、受け手にとって大切なのは、その物質的な価値ではなく、贈り主の心がどれだけ込められているか、ということです。スダマの物語のように、私たちがロータリーを通じて捧げることは、いずれは自身のためにもなるのです。私たちには選択肢があります。授けられたものを自分の元だけにとどめるか、またはそれを生かして自らが「世界へのプレゼント」となるか、です。

この機会は二度と訪れません。本ロータリー一年度も一度きりです。今を逃さずに生かし、「世界へのプレゼントになろう」をテーマに活動してまいりましょう。

2015-16年度国際ロータリー会長
K. R. “ラビ” ラビンドラン

7月21日 横手南ロータリークラブ

会長／菊池 泰美



宮下正弘ガバナーが、当横手南ロータリークラブを皮切りに公式訪問をスタートされました。同席者として、平田洸一ガバナー補佐、そして遠藤直前ガバナーが、宮下ガバナー激励の為駆けつけて下さいました。当クラブからは打川前会長、幹事、私の三名が出席し面談を致しました。こちらの準備不足もありましたが、平田ガバナー

補佐のリードにより、雑談を交えながら一時間あまり行われました。

その後の例会では宮下ガバナーから会員増強、財団、米山奨学への熱意あふれる講話を頂き、会員一同大変感銘を受けました。

7月22日 横手ロータリークラブ

幹事／黒丸 雄平



7月22日(水)、宮下正弘ガバナー、平田洸一南区ガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が執り行われました。例会に先立ち、会長・幹事・会長エレクト・次期幹事が出席して面談が行われました。宮下ガバナーから、会員拡大に関する取り組みに関して質問があり、横手RCでは会員拡大チームを編成し情報を共有しながら全員参加で取り組んだことを報告しました。昨今の急激

な会員増加を鑑み、今年度は会員拡大は継続するものの、クラブへの参加意識の向上とクラブ内の融和を図るための同好会を新設し、退会防止に重点をおいた活動をしていくこと、また、インターアクトや青少年奉仕活動に関して継続して積極的に取り組んでいくことを説明いたしました。

7月23日 秋田南ロータリークラブ

幹事／堀川 勤



2015年7月23日（木）、宮下ガバナーを当クラブにお迎えいたしました。

例会に先立ち1時間ほど宮下ガバナー、高崎ガバナー補佐、伊藤会長そして幹事の4名で面談を開催させていただきました。席上伊藤会長から今年度の活動方針や課題等について率直にご報告申し上げ、宮下ガバナーや高崎ガバナー補佐からは、的確なご指摘や貴重なご助言を

いただくことができました。

その後、例会では宮下ガバナーからスピーチをいただきました。自己紹介に始まりガバナーとしての抱負等についてわかりやすい言葉でお話され、一同、温かく包み込まれていくような雰囲気を感じた次第でした。

当クラブにとって、とても良い一日でした。

7月24日 秋田中央ロータリークラブ

会長／白沢 啓



7月24日、例年よりも早めの時期ですが、ガバナー公式訪問がありました。

新体制に移行してから間もないので、とても緊張いたしました。宮下ガバナーと高崎ガバナー補佐の温かい笑顔で始まり、例会前の懇談は予定よりも早く開かれ70分の間貴重な意見交換はあっという間に過ぎた感があります。

ガバナーは、ロータリークラブにとって最も大事な柱の一つ「会員増強」について、「1,100名」という数字は暫定

的なものであるので一層の努力が必要ということと、その前に、なぜ会員増強が必要なのかという「そもそも論」を踏まえて会員の増加に努め、同時に退会防止も重要であると説かれました。

当クラブは来年設立25周年を迎える比較的若いクラブですが、継続性のある青少年奉仕関連の事業を多く持っております。今後も継続して内容を深めて欲しいと励ましのお言葉もありました。

7月2日(木) 第1回職業奉仕委員会 開催報告 秋田東RC / 地区委員長 斎藤 秀光

7月2日(木) 17:00 から秋田キャッスルホテルにて第1回目の職業奉仕委員会を開催いたしました。本年度の職業奉仕委員会は2012-2013年度から3年間、経済活性化プロジェクト委員会にて取り組んできた県内チャレンジ企業の発掘及び紹介事業を継承し委員会の活動計画として実践します。

今回の委員会では経済活性化プロジェクト委員会の委員長を3年間務められました伊藤碩彦委員長をお招きし事業の開発からこれまでの経緯についてご説明いただきました。今年度事業を進める上で大変参考になるお話をいただくことが出来ました。また、委員会メンバーからも積極的な意見を多数いただき、その後の懇親会も大盛況で委員会内の親睦を深めることが出来た大変有意義な1日でした。

本年度もすばらしいチャレンジ企業を紹介させてい

ただきますのでロータリアンの皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げ委員会報告とさせていただきます。



7月4日(土) 第1回会員拡大増強委員会 開催報告 秋田RC / 地区委員長 桑原 透

委員長挨拶、宮下ガバナー挨拶。

続いて、各委員・ガバナー補佐・江島地区幹事から自己紹介。

その後に協議事項に入る。

①第 2540 地区の会員数の現状について

7月1日現在の総数1,106名で本年度をスタートするという危機的状況であるが、ガバナー方針である会員数50名以上のクラブは最低2名、50名未満のクラブは最低1名を純増し、地区会員数1,150名以上を果たすために、各分区とも、委員とガバナー補佐とで連携しながら、担当するクラブに働きかける。



②各分区内の現状と会員増強に向けての意見交換

目標数1,150名を達成するためには、各クラブ会長がクラブ内でいかにやる気を出してクラブ委員会や会員にお願いするかにかかっている。

月に一度、会員数を確認し、勧誘を呼び掛け、入会した人にはクラブを楽しんでもらえる工夫が必要。

クラブが楽しければ現会員も退会せず、新会員も長く在籍してくれる。

8月9日開催の合同セミナーで地区委員長として各クラブ会長、クラブ委員長へ会員増強を強く願ひする。



新会員のご紹介 ようこそロータリーへ!

能代ロータリークラブ
寺田 雅彦
Terata Masahiko



職業分類/スーパーマーケット
勤務先/㈱テラタ
役職/代表取締役社長
入会年月日/2015年7月1日
紹介者/村越 正道

能代ロータリークラブ
佐藤 健一
Sato Kenichi



職業分類/不動産業
勤務先/㈱山田産業
役職/代表取締役
入会年月日/2015年7月1日
紹介者/石岡 照実

能代ロータリークラブ
尾形 勝美
Ogata Katsumi



職業分類/電気工事
勤務先/㈱ユアテック能代営業所
役職/所長
入会年月日/2015年7月1日
紹介者/継続会員

能代ロータリークラブ
佐藤 忠之
Sato Tadayuki



職業分類/鉄工業
勤務先/㈲ソーキテック
役職/代表取締役
入会年月日/2015年7月10日
紹介者/銭谷 正

秋田ロータリークラブ
伊藤 里花
Ito Rika



職業分類/美容業
勤務先/㈲カールファッションほい
役職/取締役
入会年月日/2015年7月1日
紹介者/桑原 透

秋田ロータリークラブ
窪田 和樹
Kubota Kazuki



職業分類/情報通信事業
勤務先/東日本電信電話㈱秋田支店
役職/支店長
入会年月日/2015年7月1日
紹介者/渡邊 靖彦

秋田ロータリークラブ
涌井 良介
Wakui Ryosuke



職業分類/全国放送
勤務先/日本放送協会秋田放送局
役職/局長
入会年月日/2015年7月1日
紹介者/三浦 廣巳

秋田南ロータリークラブ
太田 正彰
Ota Masaaki



職業分類/モバイル通信事業
勤務先/㈱ドコモCS東北秋田支店
役職/秋田支店長
入会年月日/2015年5月21日
紹介者/福士 文友

秋田南ロータリークラブ
鈴木 亮
Suzuki Ryo



職業分類/自動車販売
勤務先/㈱リユーバ
役職/代表取締役
入会年月日/2015年7月2日
紹介者/田村 典美

秋田南ロータリークラブ
北嶋 洋一
Kitajima Yoichi



職業分類/建築設計
勤務先/北嶋洋一建築設計
役職/代表
入会年月日/2015年7月2日
紹介者/伊藤 智

秋田中央ロータリークラブ
小俣 康則
Omata Yasunori



職業分類/ホテル
勤務先/秋田ステーションビル㈱
役職/代表取締役社長
入会年月日/2015年7月3日
紹介者/平澤 敦夫

湯沢ロータリークラブ
和賀 幸雄
Waga Yukio



職業分類/建設業
勤務先/株式会社和賀組
役職/代表取締役社長
入会年月日/2015年7月1日
紹介者/高久 臣一

湯沢ロータリークラブ
松田 圭司
Matsuda Keiji



職業分類/建設業
勤務先/株式会社丸栄建設
役職/代表取締役
入会年月日/2015年7月2日
紹介者/高久 臣一

湯沢ロータリークラブ
齋藤 文和
Saito Fumikazu



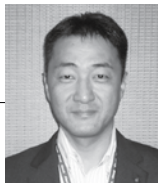
職業分類/ホテル
勤務先/㈱グランドシステム
役職/常務取締役
入会年月日/2015年7月2日
紹介者/松田 光雄

湯沢ロータリークラブ
高橋 克也
Takahashi Katsuya



職業分類/建設業、運輸業
勤務先/高橋産業株式会社
役職/代表取締役
入会年月日/2015年7月9日
紹介者/松田 光雄

湯沢ロータリークラブ
三浦 力
Miura Chikara



職業分類/金融業
勤務先/秋田銀行湯沢支店
役職/支店長
入会年月日/2015年7月9日
紹介者/小田原 豊満

横手ロータリークラブ
黒沢 敏和
Kurosawa Toshikazu



職業分類/金融業
勤務先/秋田銀行横手支店
役職/支店長
入会年月日/2015年7月15日
紹介者/藤井 吉郎

PHF、MPHF、米山功労者紹介

秋田中央ロータリークラブ
熊谷 健司 Kumagai Kenji



表彰分類/PHF
幹事/2011-2012年度
地区広報委員長/2013-2014年度
入会年月日/2008年4月

本荘南ロータリークラブ
清水 世紀 Shimizu Seiki



表彰分類/PHF
会長/2002-2003年度
2007-2008年度
2011-2012年度
ガバナー補佐/2014-2015年度
チャーターメンバー/1992年

ロータリーレート
2015年8月のレート
1ドル **124円**

9月「ロータリーの友月間」に寄せて

ロータリーの友委員会
委員長 秋田北 RC 佐野 公彦

9月は、是非「ロータリーの友」誌をご一読お願い申し上げます。そこには、国際ロータリー本部からロータリー会員への有益な情報や、他のクラブ奉仕活動の報告が溢れており、皆様のクラブ運営の参考になること間違いなしです。

又、「ロータリーの友」誌編集部では下記の記事及び写真を募集しておりますので奮って掲載希望をお待ちしております。

①「ロータリーの友」誌の表紙の写真を募集しております。

地域の特色と季節感溢れる写真の投稿をお待ちしております。

②「わがまち…そしてロータリー」への掲載を募集しております。

商店街の復活や文化の継承、新しい産業の構築などの街の状況、活動にスポットを当て、又そこにあるロータリークラブを通じて活気ある地域社会をつくらうとしている人たちを紹介し

ます。

③「心は共に」への掲載を募集しております。

2011年3月11日の東日本大震災の大津波による被害に対する復興は、多くの時間とお金と労力が必要とされ、未だ避難生活を余儀なくされている方もおり、今後も困難が予想されます。投稿は「ロータリー・アット・ワーク」欄に移して掲載しております。各クラブで支援活動を行っている状況を掲載してみてください。

④デジタル環境への対応

「ロータリーの友」誌を読むという行為は変わりませんが、印刷版の発行は継続していきませんが、2014年より電子版でも購読出来るようになりました。

ホームページ「ROTARY JAPAN」にアクセスして頂き、情報収集して頂けますので是非一度お試しください。お勧めします。

「ロータリーの友」誌は会員各位と国際ロータリーとを結ぶ唯一の情報収集手段です。是非会員の皆様が一読されロータリーへのご理解がより深くなることを切望します。



文庫通信 335号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

デジタル化されたロータリー文献(2)

- ◎ YOKOHAMA
PAUL P. HARRIS PEREGRINATIONS vol.II 1935 11p
- ◎ 今は昔
米山梅吉 提督ペルリ 1923 4p
- ◎ 八十五年前の日本
米山梅吉 看雲録 1938 52p
- ◎ かたみの文—伊豆山寺の一夏
米山東一郎 米山梅吉編 東一郎 [1921] [18p]
- ◎ 八十七日 (米山梅吉歌集)
米山梅吉 1922 92p

- ◎ 何故ニ 漢字ワ ヨクナイカ
星野行則 国字問題—漢字ヨリノ解放 1924 12p
- ◎ 感謝観念
星野行則 私ノ心理生活 1943 6p
- ◎ ガバナー告辞 (国際ロータリー第60区大会記録)
星野行則 大阪 R.C. 1952 6p
- ◎ ロータリー大会に際して (ラヂオを通じてロータリアンの講演放送)
村田省蔵 ロータリー第七十区第六年次大会記録 1934 8p
- ◎ 追憶談
下村海南 津島純平編集 平生八三郎追憶記 1950 6p
[上記申込先：ロータリー文庫]

<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
●開館＝午前10時～午後5時
●休館＝土・日・祝祭日

巻頭の言葉

秋田は民俗行事の宝庫です。県内で様々な夏祭りが行われますが、県都秋田市を代表するものは何と言っても竿燈祭り。毎年病院に慰問に来てくれる秋田銀行竿燈会の演技を描いてみました。